



沖縄県中学校文化連盟

令和7年度

# 第3回理事研修会・第2回実行委員研修会

令和8年2月19日(木) 15:00~

## 【会次第】

司会進行： 松川 和繁 常任理事

1 開会のことば…………… 司会

2 会長あいさつ…………… 会長 仲嶺 香代

### 3 議事

(1) 第31回沖縄県中学校総合文化祭実施報告

(2) 第31回県中文祭事後アンケートから

(3) 令和7年度各専門部活動報告

(4) 令和8年度県中文連事業計画(案)、各地区中文祭の日程(案)

(5) 第32回沖縄県中学校総合文化祭について

(6) その他

・ 県庁 作品展示休止について

・ 団体見学校 大型バス借用補助金について ¥10,000 → ¥20,000

4 閉会の言葉……………副会長 當間 保

盛平



第31回沖縄県中学校総合文化祭へのご協力、  
ほんとうにありがとうございました。

左記QRコードを読み取っていただくと、  
県中文祭の様子を写真にてご覧になれます。

第32回大会は、令和8年12月12日(土) です。

\*12/11(金)準備設営&リハーサル



(1) 第31回沖縄県中学校総合文化祭実施報告

①全体報告

大会期日	令和7年12月6日(土)
会場	アイム・ユニバースてだこホール
主催	沖縄県中学校文化連盟
共催	沖縄県教育委員会・浦添市教育委員会・うるま市教育委員会・沖縄県中学校長会 沖縄県特別支援学校長会・一般社団法人沖縄県PTA連合会
後援	沖縄県市町村教育委員会連合会 日本教育公務員弘済会沖縄支部沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK沖縄放送局 琉球放送沖縄テレビ・琉球朝日放送・FM沖縄・ラジオ沖縄

舞台部門		出演者数	来客数 (団体見学含む)
①舞台の部	12月 6日(土) 午前の部(14演目)	293 名	867 名
	午後の部(11演目)	421 名	835 名
②YPFの部 演劇の部	10月11日(土) YPFの部(バンド)	58 名	52 名
	10月18日(土) YPFの部(ダンス)スモール 6校	46 名	52 名
	10月18日(土) YPFの部(ダンス)ビッグ 8校	135 名	143 名
	12月 6日(土) 演劇の部 (3団体)	43 名	72 名
合計		996 名	2,021 名

展示部門		作品数	
③展示の部	国語	書道	19 作品
		文芸	542 作品
	社会	148 作品	
	数学	148 作品	
	美術	678 作品	
	技術	13 作品	
	家庭科	29 作品	
	特別支援学級	124 作品	
	特別支援学校	280 作品	
	NIE	66 作品	
	第12回沖縄県中学校アートコンクール最優秀賞、優秀賞作品	20 作品	
	第15回スケッチコンテスト 会長賞、金賞、銀賞作品	20 作品	
	合計(作品数)		2087 作品
	④学校茶道呈茶(3校)	17 名	
⑤NIE新聞速報(1校)	13 名		
⑥実演実習(体験コーナー)	73 名		
⑦第15回スケッチコンテスト参加者(21校参加)	175 名		
⑧生徒実行委員	70 名		
⑨教師実行委員	170 名		
合計(出演者、作品数、実演、スケッチコンテスト、実行委員含む)		3,601 名	

令和8年 第26回全国中学校総合文化祭東京大会 沖縄県代表派遣団体

開催日:令和8年8月20日(木)~21日(金) 会場:大田区民ホールアブリコ

(郷土芸能) 石垣市立大浜中学校 「稔り世」

(郷土芸能) 読谷村立読谷中学校・古堅中学校 「残波~明日に繋ぐ西太陽2~」

(演劇) 昭和薬科大学附属中学校 「私と同じ目の色をした君のこと」

※展示部門に書道作品6点、美術作品6点、社会新聞1点・技術作品1点・家庭科作品1点を出品

ヤングパフォーマンスフェスタ(YPF)  
バンド部門 大会結果

グランプリ	学校名	宜野湾市立真志喜中学校
	バンド名	真志喜中学校選抜バンド
準グランプリ	学校名	沖縄東・山内中学校
	バンド名	pH7(ピーエイチセブン)
3位	学校名	宜野湾市立真志喜中学校
	バンド名	おむらいず



ヤングパフォーマンスフェスタ(YPF)  
ダンス部門 大会結果

スモール部門

グランプリ	北中城村立北中城中学校
準グランプリ	南風原町立南風原中学校
3位	那覇市立松島中学校

ビッグ部門

グランプリ	浦添市立神森中学校
準グランプリ	うるま市立具志川中学校
3位	読谷村立古堅中学校



第15回スケッチコンテスト結果 ◇参加者：175名(21校)

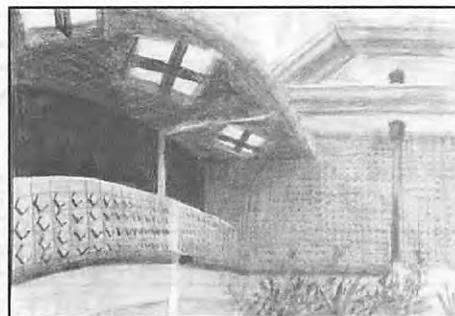
会長賞 小橋川 虹海  
【北谷中学校2年】  
「陽の当たる階段」



金賞 宮城 帆那【北谷中学校2年】  
「私の好きな塔」



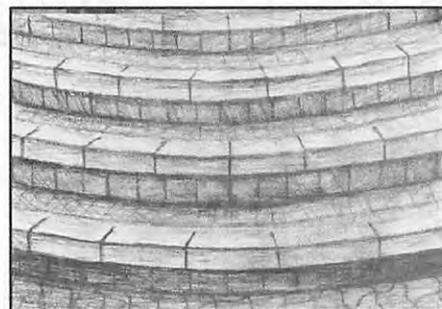
金賞 玉城 日和【糸満中学校2年】  
「通路」



金賞 土師 葵【糸満中学校1年】  
「森の中のかいだん」



金賞 玉城 咲希【糸満中学校2年】  
「シンメトリー」







## (2) 第31回沖縄県中文祭 事後アンケートから

### 【1】舞台発表(内容、進行、誘導、集客、司会、受付など)について

#### 【良かった点】

- ・ どの出演校も素晴らしい発表でした。進行も時間ぴったりでした。ありがとうございました。
- ・ 来賓の方は役員の先生方で案内していただけたので良かったです。
- ・ オープニングと開会宣言からのファンファーレが盛大だったので、文化祭がとても華やかに感じました。とても良かったです。
- ・ 大浜中学校郷土芸能部の「稔り世」は、とても見応えがありました。
- ・ 司会の生徒は自分たちで考えながらしっかりと司会ができていた。
- ・ 舞台発表の演目は量・質ともに大変充実しており、観客が最後まで楽しむに十分な内容でした。何よりも感動したのは、舞台上に立ったすべての中学生が、日頃の練習の成果を一杯、ひたむきに表現していたことです。その発表は、技術的な完成度を超え、若者たちの熱意とエネルギーに満ち溢れており、見る者に深い感銘を与えました。また、司会進行を担った生徒の皆さんも、緊張感の中でも責任感を持ち、一生懸命に役割を果たす姿は、文化祭の価値を大きく高めるものであり、全てにおいて非常に素晴らしいものでした。来年もこの熱量を期待しております。
- ・ 楽屋配置も良くスムーズな進行でした。ありがとうございました。
- ・ 午前の部の司会進行がとてもスムーズで、安心感がありました。午後の部に関しては、もう少し大きな声で元気が欲しいと感じました。また、アドリブが少し難しかったようで、中学生の祭典ですので、無理せずに進行を進める形でもよいのかと思います。
- ・ 今年度から1日開催の実施となりましたが、充実した内容でとても見応えのある舞台発表でした。出場した中学生の文化の継承への熱意と、披露できる喜びを感じることができました。
- ・ 会場全体を使ったファンファーレができて良かったです。吹いていた子ども達も誇らしげにしていました。
- ・ どの発表も素晴らしく、練習の成果を発揮していたと思います。また、司会進行や会場整理の生徒も丁寧に対応していました。発表者のみならず、裏方スタッフ全ての中学生の底力を感じた舞台発表でした。
- ・ 初めての県中文祭でした、とてもとても感動しました。想像以上のレベルの高さ、沖縄県の中学生が精一杯演技している姿が躍動しており輝いていました。
- ・ 各学校の舞台発表がすばらしく堂々と演技している様子に感動しました。内容がとても充実していました。
- ・ 特別支援学校の出演に関しては、当日、生徒を出演させることが難しかったため、映像発表をさせて頂き、伝えたい内容を映像を通して発表することができました。映像参加出来たのでとても良かったです。
- ・ 司会進行及びタイムマネジメントはとても良かったです。
- ・ 内容については、郷土芸能関係について、もう少し充実してくると素晴らしいと思います。
- ・ 受付、誘導などとても良かったです。
- ・ スムーズに誘導できていたと思います。大ホール入り口付近に習字の展示があり、ドア係の生徒や担当者が注意を払いながら誘導していた。高い意識をもって担当する役割を進行していると感心しました。
- ・ シナリオ通りに進めることが出来た
- ・ オープニングの「歌三線合奏」は今年もよかった。なくてはならない演目。
- ・ 郷土芸能：大浜中、読谷・古堅中のレベルは高く、学校教育のレベルを超えていると感じた。
- ・ 司会進行では、演者へのインタビューを挟むことで進行の調整がうまく回っていた。司会の受け答えも良かった。
- ・ 中城中・美東中の演劇は、地元をテーマとしたオリジナルで演者も生き生きとして良かった。

#### 【検討・改善点】

- ・ 「一般受付」とすると、一般のお客様が受付するのか戸惑うので「学校関係者受付」へ表示を変えたほうが良いと思います。→ 表示を新しく作成します
- ・ 演劇の観客が少ないのがもったいないと感じます。
- ・ 演劇の観覧者が少ない演目があった。例えば、発表する学校は、自分たちで申し込んでいるので、自校の生徒に呼びかけなどを行うことが必要のように感じた。
- ・ 午後の部のマーチング後のインタビューは演舞前でも対応可能かどうか検討したい → 相談します
- ・ 受付時間の10分前に会場入りしましたが、舞台が早めに進行していて準備する時間がなかったです。もう少しゆとりをもって、受付時間を設けても良いかと思いました。→ 改善します

## 【2】展示の内容について

### 【良かった点】

- ・各専門部、特色ある展示ですばらしかったです。
- ・(家庭科) 前年度に比べ、展示スペースが半分ほどになりましたが、心配したほどのトラブルもなく展示することができた。次年度も同様のパネル数であれば、スムーズにできると考える。
- ・(家庭科) 事前準備も先生方の協力のもとスムーズに行うことができた。
- ・宮古地区の絵画が、海の色、空の色が独特で深い感銘を受けました。
- ・生徒の頑張りが見えてとても良かった。各教科の先生方がうまく展示をしていたと思います。
- ・(技術) パネルとテーブルを利用しましたが、技術は木工などの立体的なものが多く、テーブルに置く形になった。パネルにフックを取り付け展示することで、空間を広く使うことができたので、来年は出展を増やすことができたかと考えています。
- ・今年度の展示発表は、パネル数の削減という制約がある中で実施されましたが、そのことがむしろ各校の展示物の精選と質の向上に繋がりが、結果として非常に密度の高い、素晴らしい内容になっていたと高く評価いたします。選りすぐられた作品や研究成果からは、生徒の皆さんの深い思考や創造性が感じられました。また、各展示ブースのレイアウトは観覧者がストレスなく楽しめるように工夫されており、動線も明確で大変見やすかったです。準備・運営に尽力された実行委員、そして関わられた役員の方々の皆様の献身的なご努力に対し、心より感謝申し上げます。
- ・各地区から選出された作品に魅了するばかりでした。中学生の創作へのエネルギーを感じることができました。
- ・文化祭が1日開催になったこともあり、パネル数が少なくなったことは仕方ないことだと思いました。その中で素晴らしい作品を展示することができたと思います。
- ・社会科として取り組んでいる新聞コンクールを県全体に発表できる場あることで社会科教員としてもありがたいと思っています。生徒もよい刺激になり、ご家庭へ子どもたちの頑張りを伝える良いきっかけになっていると感じています。とても見やすく良かったと思います。
- ・丁寧な展示と見やすいレイアウトだったと思います。平面的な作品から立体的なものまで、作品の良さが感じられる展示の工夫があったと思います。
- ・全国出品作品などが明記されており、わかりやすかった。すべての作品が素晴らしいので、初心者の私には甲乙つけがたいです。
- ・1日開催でもあるのでパネルの枚数などは適当だと思いました。各地区から参考になる作品が出品されていて勉強になりました。
- ・動線がよくて見やすく、充分見応えがありました。
- ・(特支学校) 計画されていたパネル数が一枚多くて、各校の割り当てをを上げることができました。見やすい規模で良い。とても充実してました。特に、美術の部で、素晴らしい油絵が拝見できたのは良かったです。
- ・昨年より、展示数が減っているが、見やすく配置されていたと思います。
- ・(美術科) 市民交流室での展示は、天井が高く明るさもあり、気持ちよい展示空間になったと思いました。また、美術科の作品展示会場やワークショップスペースが1か所に集まったことで、科の展示物の一体感や役員の連携がとりやすくなったように感じました。
- ・(美術部) パネルも机の数も過不足ないと感じた。各学校の先生方と協力して展示することができました。ありがとうございました。
- ・(文芸) 各地区から選ばれた作品だけあって、とても見ごたえのある展示になったと感じました。見学されていた方も、「どの作品も素晴らしいので、先に進めない。(笑)」とおっしゃっていました。パネル数、テーブル、過不足なかったと思います。
- ・(文芸) 例年どおりの展示で良いと思います。パネル数が減っていたので、作品選びに各地区苦勞するかなと思っていましたが、特に問題はありませんでした。少し机上の作品が少ないのが気にはなりましたが。
- ・展示別室(美術油絵等上位作品の展示エリア)も一か所にまとまっていた良かった。
- ・とても見やすかったです。厳選したものを展示できたので、ちょうどよいパネル数と机数でした。

### 【検討・改善点】

- ・(家庭科) 前年度で、次の全国中文祭出品作品を選出しておく案は、いいと思いました。ただ、選出作品を検討する時に離島の作品がないため、離島の生徒に不利な状況であることが心配です。今後、教科でも改善できないか検討します。
- ・展示は地区からどのように選抜されて、県中文祭に出品されていますか。出てきた作品の選抜の必要性を感じます。仕上がり疑問の残る作品がありました。
- ・(社会) 学校からの校内の公文で、子どもの作品の展示があると知った保護者が来場していましたが、実際には展示されておらず「展示されていないのですか」と質問される場面がありました。展示の基準(原則は特別賞と3年生の金賞が対象)などを、各地区の担当者で共有して各学校におろしたり、生徒や保護者へ正確に周知すること大切だと感じました。
- ・(社会) 社会科新聞は開催地区の生徒を多めに募集してはどうでしょうか。
- ・(社会) パネル数が足りず、机上に置く作品もあった。
- ・(社会) 各地区で3年生の金賞と賞をもらった生徒の新聞の掲示をする話で動いていたが、2年生の保護者が来場し、掲示されていると聞いて来た。と言っている保護者もあり、しっかりと伝わってなかったことがあった。
- ・(社会) 展示スペースの関係もあると思いますが、社会科新聞の作品数が多いため、パネルがぎりぎりでした。次年度は現状維持、もしくはパネル数枚を増やしていただくと助かります。
- ・(書道) 今年度は出品数が少なかったためパネル数は18枚でしたが、毎回変動があるので25枚は常備してほしい。
- ・(書道) 今回展示用のフック(プラスチック)は不安定であった。来年度からは高価だが、L型のフックが必須(長年使える)
- ・(書道) レイアウトについてはホール出入口から両側に展示をしたが、舞台出入口側は多くの人が往来するため、とても狭く、作品に接触等があったので、片側にまとめて展示した方がよい。
- ・(特支学級) 今回、展示パネル数を減らして初めての発表だったため、各地区の作品が大幅に減ってしまい、作品数が足りず当日に作品を持参して展示したということがありました。次回からはしっかり調整したいと思います。
- ・各地区・各学校によって、提出に力を入れている分野とそうでない分野があることが気になった。
- ・市民交流室への案内板、周知をしっかりとっておかないと、展示見学をせずに帰る方もいるかもしれない。

### 【3】運営(実行委員会・専門部会・教師実行委員及び生徒役員の各係の活動)について

- ・(接待)生徒がよく動いてくれた。お弁当の片付けに時間がかかったため、各教師、各生徒ともにお弁当は容器・ふた・残飯・お箸の袋等に全て分別してもってきてほしい。
- ・(接待)用具の確認をしたが、重なって購入したものがあつたので、来年度はきちんと確認・引き継ぎをしたい。コーヒーマシンの消費がかなりあつたので、購入の際は多めに準備したい。
- ・コーヒーマシンの計量スプーンがなくて困つた。→ 次回は、事務局で準備します
- ・今年から1日開催となり、生徒や先生方も集中して取り組んでいたのが良かったです。
- ・(科学)今回から実験ブース形式にして、見学者が実験できるようにしました。展示より多くの生徒が集まつたので、興味・関心をひくことができたと考えています。
- ・各専門部、生徒役員がしっかりと動いていたように思う。一部の人に負担がかかっている点も良い。
- ・時間配分や演目間の切り替えは非常にスムーズで、運営につきまして、全体を通じて極めて円滑かつ質の高い管理体制であつたと評価いたします。
- ・スタッフの方々のかき細かく丁寧な対応により、出演者も鑑賞者も不安なく本番に臨み、鑑賞できたのではないかと感じています。これはひとえに、事前の周到な計画ときめ細やかな準備の賜物であり、関係者の皆様のプロフェッショナルな仕事ぶりに深く敬意を表します。
- ・(郷土芸能舞踊)専門部で協力、連携して活動できました。
- ・総合文化祭ではスムーズな大会運営、進行いただき感謝申し上げます。
- ・(郷土芸能舞踊)OBの先生方も含め、委員一丸となつて運営に努めることができたと思います。県中文祭のさらなる発展、資質向上のため、今後も委員一丸となつて貢献していきたいと思っています。
- ・各理事の皆様、専門委員長の皆様、大変お疲れ様です。協力体制がとてよかつたと思います。
- ・運営に携わつたすべての先生方へ感謝です。みなさん一人ひとりのご理解と協力・支援で中学生の文化発信の場が持てること、本当にありがとうございました。
- ・特に、展示発表に携わつた先生方(専門部の方々)には、地区大会への出展準備から地区大会当日、そして県大会まで、大変なご苦労があつたと思います。改めて感謝申し上げます。
- ・(社会)社会科の先生方がとても親身で助かりました。
- ・運営、活動については運営委員・専門部のみなさんの尽力のよりすべてのプログラムが予定通り円滑に行うことができ、素晴らしいです。
- ・生徒主体で動くことができていました。
- ・(茶道)今年度から参加校の顧問の先生は全員委員になってもらい、専門部の委員の人数を増やしました。そうすることで、会場設営や準備・片付け・当日の接客などで協力いただき、かなりスムーズに進めることができ、運営上で改善が見られたのがよかつたです。
- ・(当日の生徒参加がなくなつてしまった学校の委員の先生も当日参加していただき、とてもありがたかつたです。)
- ・会場整理の生徒が丁寧に対応していました。また、司会の生徒はアドリブを取り入れたり、場をつなぐ臨機応変な対応が見られ感心しました。
- ・展示の部・舞台の部を成功裏に終えられたのも、各専門部の先生方のご尽力のおかげです。ありがとうございました。
- ・(特支学級)昨年は、4人全員が初めての経験で、色々分らないことだらけで大変でしたが、今年は経験者が2人いたのでスムーズにことを進めることができました。
- ・それぞれの専門部会の中に、県中文連を経験者した方が入つていただくと、うまくいくと思います。
- ・それぞれが丁寧に動いていた。
- ・運営委員のみなさんととてもよかつたです。本当に、ご苦労様でした。
- ・全ての関係者が、献身的に役割を果たしていただけたと思います。本当にお疲れ様でした。
- ・はじめて参加しましたが、事前の準備のおかげでスムーズに取り組みました。
- ・(文芸)集まつたの話し合いや準備から当日の運営までスムーズにできていました。ありがとうございました。
- ・来賓のお弁当係の生徒が、積極的に仕事を遂行して、気持ちよかつたです。

### 【4】その他、お気づきになった点(改善点、要望等)

- ・前日準備(作品搬入・展示作業)で会場入りする先生の時間がまちまちで、閉館間近の先生に到着する先生もいました。お互いでも声をかけていますが、待たされている先生もいるので確認をお願いします。
- ・(前日準備終了後、学校に戻る先生に影響がでていますので、気になりました。) → 各専門部にて要確認
- ・NIEの作品は新聞社から入賞作品が12月下旬に返却になるので作品の回収に時間がかかり出品校の負担になっていた。今後は授業の作品で優秀なものを含め展示していきたい。と考えている。
- ・(リコーダー)リハーサル室が他の団体と重なつていたので、調整させてもらった。
- ・次年度はプログラムの調整を含めて、練習室1で練習できるように組んでほしい。→ 善処します
- ・生徒役員は減らしていく方向で体制づくりをしたほうが良いと思います。
- ・生徒役員を引率する教師の負担軽減になると思います。→ 教師実行委員の増員が必要になります。
- ・賞状について
- ・県中文祭では出演者すべての生徒の名前が記載された賞状があり、大変助かっています。
- ・そして生徒もそれを楽しみにしています。今後も続けてほしいです。
- ・(中頭地区は賞状は担当職員が記入するため、浄書できない担当は悩んでいます)
- ・地域席を弾力的に活用できるようにするのはいかがでしょうか。→ 検討し、善処します
- ・大会冊子について、展示発表作品の氏名掲載必要かどうか?各専門部の先生方の負担となつていないか?改めて検討をお願いしたいです。(中頭地区は地区大会の日に名簿提出とかなりタイトな日程となるため)
- ・市民交流室の場所が分からない子がいました。もしかすると、市民交流室に展示があること自体を知らなかつた子もいるかもしれません。
- ・どの場所にどんな展示があるのか、また、どこでどんな発表が行われているのかが一目で分かるようなパネル(簡単な地図など)が
- ・実施日数が1日になったことで、負担がかなり減りました。
- ・(事後処理などを早めに済ませられ、疲労感を残さず翌週の勤務に臨むことができました。)
- ・駐車場が常に満車状態で大変だつたと思います。
- ・駐車場確保は永遠の課題です。
- ・1日開催により、役員の負担は大きく軽減したと思います。ご英断に感謝いたします。
- ・舞台発表で、来賓の方がもう少しいると嬉しいですね。

## 【5】感想をお願いします

- ・NIE速報新聞係活動は新聞社が休日出勤やその他負担増で難色を示していますが、学校・授業では見られない生徒の新しい発見があり、県中文祭後の生徒は学校内外で自信をもって新しいことに挑戦しています。次年度以降もNIE展示部門・NIE速報新聞係の継続をお願いします。
- ・中頭地区中文祭では展示の部進路専門部がありますが、県中文祭にはこの部門がありません。県教育委員会が重点目標として掲げている「キャリア教育」の充実にもつながると思いますので、県中文祭展示の部「キャリア教育部門」または「進路部門」の設置の検討をお願いします。
- ・要望1: 参加した先生方の確実な代休の確保(休む休まないは各先生方の判断として、校長より代休の提案をいただきたい。校長会等で確実に伝達してほしい。)
- ・要望2: 先生方の負担軽減のため、出演数を減らし午前中りハ、午後のみ開催としてはどうか。  
(全国大会の推薦がある郷土芸能を中心に、出演を希望する専門部のみで開催してはどうか?)
- ・要望3: 1日開催の場合、午前の役員、午後の役員と役員の仕事を半日としたらどうか。→**専門部内で調整・相談をお願いします**  
いただけるだけありますが、休日に交通費1000円で9時~17時の時間働き、月曜日普通に出勤するというのは、やはり負担感が大きいです。
- ・前日準備に参加しているときに、練習に来ている出演者の生徒さんの挨拶がしっかりでき、すてきだと感じました。代表になるチームのみなさんですし、さすがだなと感じました。充実した中文祭になったように感じました。
- ・作品の展示方法などそれぞれの教科の方法がとても参考になりました。次年度の展示に生かしていきたいと思えます。また、次年度も多くの作品を展示できるように、教科で今回の展示会の様子などを共有していきたいと思えます。
- ・2日間開催に慣れていましたが、今回の1日間開催も(この日にかける意気込みや集力が感じられたので)良いと思えました。
- ・スポーツだけではなく、生徒の活躍できる場が多くあることは良いことだと思いました。離島の生徒に舞台や多くの作品を見せる機会が取れたら良いと思えました。
- ・今年から1日開催となり不安もありましたが、特に問題なくスムーズに1日での開催ができていたと思います。
- ・第31回沖縄県中学校総合文化祭は、心に残る素晴らしい文化祭でした。出演生徒の皆様が力一杯披露した質の高い舞台発表や展示物は、見る者に大きな感動と活力を与えてくれました。生徒たちの熱意と、裏方で支えた関係者の方々の周到な準備が結実した、大成功の文化祭であったと高く評価いたします。
- ・関係者は大変ですが、生徒の舞台発表や作品を観るとやはり素晴らしいですね。
- ・毎年関わらせていただいているが、中学生による発表の質の高さに毎年感動し、活力をもらっています。文化を未来へつないでいく役割として、とても大事な祭典だと思っています。今後ともよろしく願いいたします。
- ・素晴らしい中文祭だったと思います。本当にお疲れ様でした。
- ・運営・鑑賞ともに初めての参加でしたが、とても意義深いイベントだと感じました。
- ・1日開催が良いですが、各地区新人大会も重なって見学したい生徒としては残念かもしれません。
- ・今年も素晴らしい作品をたくさん見ることができて良かったです。
- ・2日開催が1日開催になったことは、働き方改革の観点からもよかったです。
- ・今年度初めて県中文祭の専門部として活動しましたが、文化祭に向けて委員の皆さんの徹底した事前準備や当日の行動力のお陰で素晴らしい文化祭を執り行うことができたと思います。また生徒のみなさんも特に舞台の部で見事な演舞が繰り広げられ、感動しました。
- ・お互いに交流を深めながら、主体的に活動する姿がとても印象的でした。同じ中学生同士、たくさんの刺激を受け合う貴重な機会になったことと思います。今回の学びをそれぞれの学校に持ち帰り、沖縄県全体の文化活動のさらなる発展につなげてくれることを願っています。私自身、今年度は専門部として初めての取り組みでしたが、大変学びの多い時間となりました。ありがとうございました。
- ・学校茶道呈茶席は、部活動等で活動している子どもたちの発表の場となっています。中学生や一般の方々の前で緊張しながらも、一生懸命お点前をしている姿が見られたり、お運びの役割では臨機応変に対応する姿も見られ、県中文祭を通して成長が感じられました。
- ・1日開催となりましたが、この1日に中学生の方が凝縮された素晴らしい文化祭だったと思います。その日のうちに片付けまで行うことができたので、関係者の負担軽減の観点から1日開催の意義は大きいと思います。役職をはなれたとしても、毎年観に行きたい気持ちにさせられました。関係する先生方に感謝です。ありがとうございました。
- ・執行部の皆さん、専門部の先生方、関係者の方々が手際よく働いて頂き良い中文祭になったと思います。展示部門しか見ていませんが…中学生が熱心に作品を見ているのを見ると来年はもっと良い作品を出品できるように子供たちに挑戦させたいなと感じました。本当にありがとうございました。
- ・いきいきとした中学生の姿が見られて、よい刺激を受けることができました。生徒の作品や舞台などすごくレベルが高く中学生のパワーに圧倒されました。
- ・特別支援学校の作品も展示することで多くの方に見て頂くことができ、とても良かった。
- ・当日の生徒役員の接待やドアマン、速報(NIE)等、生徒がいきいきと活動していて、対応も丁寧でとてもすばしかったです。
- ・地区の代表が、このように県に抽出されているのを初めてみました。この流れを行うのであれば、これまで行われていた展示・舞台を行う地区中文祭を持続可能な取り組みとしてやっていくことが可能と思われた。実際に、地区から県への推薦は、各専門部が行っている。ここが基準に沿って、丁寧にやっているのであれば、地区中文祭の実施方法は、必ずしも実際に行うのではなく、web開催など、柔軟性のある取り組みにしていきたいと思った。
- ・今後の運営方針については、さまざまな議論がなされるかと思いますが、生徒たちの文化的な学びや発表、郷土文化の継承の機会を守るため、本文化祭が持つ意義は大きいと思います。今後とも継続されることを願います。
- ・駐車場での車の誘導や歩行者の安全確保などを担った役員の方々が、笑顔で素早く対応しており非常に気持ちよく感じました。搬入や搬出でも助かりました。ありがとうございました。
- ・他地区の役員の先生方が協力してくださったことにより、展示や搬出作業も無事に終えることができ感謝しております。本当にありがとうございました。
- ・当日の中文祭では実行委員の先生方と時間で割当等を行い、他教科や舞台発表も参観することができました。中学生の素晴らしい可能性にとても感動しました。
- ・各先生方が、それぞれの学校で日々の業務をこなしながらの実施で、これだけのレベルを維持していること自体が、沖縄県そのものの実践が素晴らしいということだと思います。
- ・運営の先生方、島尻特支の先生方のサポートのおかげで、無事に映像参加することができました。ありがとうございました。

### (3) 令和7年度 各専門部活動報告

#### 令和 7 年度 活動報告 【 文 芸 専門部】

記載者	氏名	松田秀人	学校名	名護	中学校
-----	----	------	-----	----	-----

##### 1 活動報告

9/11 第31回沖縄県中文祭展示の部研修会  
9/18 第31回沖縄県中文祭テーマ選考会  
10/2 第31回沖縄県中文祭文芸作品の確認  
~11/7 各地区専門部長て出品作品の選定や調整

##### 2 成果

文芸の展示作品において、各地区ともに授業の中で一生懸命に取り組んだ足跡が見られた。それぞれの地区で珍しい作品の展示があった。色鮮やかな作品が多く、来場して下さった皆さんも立ち止まって作品を見入っていました。展示会場の担当調整がスムーズに決まり、担当の先生方で休憩や他教科の展示(舞台)を観ることができました。

##### 3 課題

地区中文祭の展示で実際のサイズと異なる学校があったので出品数も含めて調整が必要である。  
離島地区の展示作品のサイズや展示数が読めないため、事前の打ち合わせでパネルが何枚必要かが把握できなかった。

##### 4 要望

実行委員の先生方がとても協力的でテーマ選定や準備から当日まで大変助かりました。

#### 令和 7 年度 活動報告 【 社会科 専門部】

記載者	氏名	高嶺亨	学校名	琉大附属	中学校
-----	----	-----	-----	------	-----

##### 1 活動報告

・4月~8月:各学校にて社会科新聞に向けての活動  
・9月12日:社会科新聞地区審査(那覇地区、島尻地区)  
・9月13日:社会科新聞地区審査(中頭地区、国頭地区)  
・9月20日:社会科新聞県審査  
・12月5日:県文化祭前日準備  
・12月6日:第31回県中文祭

##### 2 成果

○県審査上位作品に加え、各地区3年生金賞受賞作品を数多く展示することができた。  
○戦後80年という時勢に合わせた作品を紹介することができた。  
○琉大附属中学校では、11月の研究発表会において社会科新聞の活用を取り入れた研究授業を行った。

##### 3 課題

○展示スペースと出品作品数のバランスが悪く、ゆとりを持った展示を行うことができなかった。  
○美術専門部や数学専門部が行っていたような体験コーナーを設ける案も検討する価値があると思われる。(作品管理をしていて思ったのですが、美術や数学の体験コーナーは活気がありました!)

##### 4 要望

・これ以上のパネルの減少は展示スペース的に厳しいため、現状維持もしくは+1枚の増をお願いしたいです。

## 令和 7 年度 活動報告 【 学校茶道 専門部】

記載者	氏名	屋富祖貴子	学校名	神森	中学校
-----	----	-------	-----	----	-----

### 1 活動報告

12月5日(金)県中文祭学校茶道専門部で会場設営  
 12月6日(土)県中文祭学校茶道呈茶席の実施(参加校:仲西中・金城中・石嶺中)

### 2 成果

・日々の活動の成果を披露することができた。  
 ・県中文祭の来場者(生徒)をはじめ、保護者・一般地域住民等に対してもお茶を差し上げ、活動の様子を広く知らせることができた。  
 ・専門部の委員を増やしたことで、準備・当日の運営・片付けをスムーズに行うことができた。

### 3 課題

・道具の保管・運搬等で一部の職員に偏りが出ているので、負担にならないよう考えていきたい。  
 ・県中文祭の開催日が最近では12月になることが多く、修学旅行前後と重なり、参加校や参加人数が少なくなるなど、影響が出るようになってきている。

### 4 要望

## 令和 7 年度 活動報告 【 特別支援学校 専門部】

記載者	氏名	当真久美子	学校名	特別支援学校	中学校
-----	----	-------	-----	--------	-----

### 1 活動報告

\*第1回:5月7日(水)総合文化祭要項(開催方法:会場展示、Web配信決定)  
 \*第2回:6月25日(水) 展示会場&Web開催実施要項  
 \*第3回:11月7日(金)沖特注文祭反省、Web閲覧者アンケート結果、地区中文祭、県中文祭について  
 \*第4回:令和8年2月20日(金)県及び地区中文祭反省、事業及び会計報告等

### 2 成果

展示の部では特別支援学校16校の平面・立体作品を260点あまり展示することができた。  
 舞台発表では、那覇みらい支援学校のエイサー「ダイナミック琉球」を映像発表することができた。

### 3 課題

県中文祭の縮小に伴い、今年度はパネル16面、テーブル11台の割り当てでした。16校の展示スペースの割り振り、小規模校のスペースが限られている中で、16校すべての職員が会場での搬入、搬出を行っている。代理でも取り組めるような搬入、搬出方法を検討していきたい。

### 4 要望

特別支援学校は舞台発表を輪番で組んでいる。昨今、生徒を引率しての舞台発表への取り組みが難しくなっている。今年度同様に映像発表ができるよう要望したいです。

## 令和 7 年度 活動報告 【 英語 専門部】

記載者	氏名	小渡沢子	学校名	鏡原	中学校
-----	----	------	-----	----	-----

### 1 活動報告

7/10 県スキットコンテスト(場所:アイムユニバースでこホール)  
 10/9 県スピーチコンテスト・高円宮杯第77回全日本英語弁論大会 沖縄県予選大会  
 (場所:男女共同参画センターている)

### 2 成果

○スキットやスピーチを披露する生徒が中文祭という多様な人々が集まる場所でコンテストとは異なる雰囲気の中のびのびと演じることができていた。特にスキットに関しては、生徒は楽しそうに演技していた印象です。

### 3 課題

特になし

### 4 要望

特になし  
 お弁当係に関する資料等の作成もありがとうございました。当日、スムーズに役割を果たすことができました。

## 令和 7 年度 活動報告 【 NIE 専門部】

記載者	氏名	新垣 孝子	学校名	糸満市立三和(大度分校) 中学校
-----	----	-------	-----	------------------

### 1 活動報告

8月21日子供記者実践校・協力会社の決定  
 8月下旬～11月中旬 NIEアドバイザーによる NIE作品出品の募集及び選考  
 10月～子供新聞記者の募集(今年度読谷中13名)  
 第3回沖縄県中学校総合文化祭新聞速報(取材・構成・配布)  
 NIE実践校およびNIE活動校の作品展示および選考会  
 12月8日～琉球新報「りゅうPON」掲載の子供記者体験記事作成(新聞社出前講座)後日新聞掲載

### 2 成果

○文化祭当日の新聞速報は好評であった。  
 ○作品を前もっての選考を行い、作品の質をあげ、展示を行うことで見学者も真剣に見ていた  
 ○新聞社の協力により、過去の速報を展示できた。  
 ○今年度はすべて1年生で構成した。文化祭当日だけではなく後日の琉球新報掲載の文化祭の記事づくりにも携わることができ、キャリア教育の一つとしてよかったと思う。

### 3 課題

●午前午後で750部以上を目標にの発行をしたが、午前の部が450では不足していた。購読者からは、自分の子供の出演校記事が出るかと聞かれるも発行の時間の制限があるため全部は掲載できないと伝えると残念がっていた。  
 ●社会経済上の観点から新聞社の協力が厳しくなっている。次年度も厳しい状況になると考える

### 4 要望

○次年度も今年度と同じようにプリンターの準備を本部のほうでお願いしたい。  
 ※どうしても速報は生徒が1から作り上げていくので新聞発行までには2時間以上かかることをご理解いただきたい。

## 令和 7 年度 活動報告 【 マーチング 専門部 】

記載者	氏名	中里 展仁	学校名	宜野湾市立真志喜 中学校
-----	----	-------	-----	--------------

### 1 活動報告

- ・9月14日(日) 沖縄県マーチングフェスティバル開催 県代表校 与勝、真志喜、大宮
- ・9月20日(土) 県マーチングフェスティバル1位の得点の与勝中学校に出演依頼
- ・11月3日(月) マーチングinオキナワ開催 全国大会へ具志川中を派遣

### 2 成果

- ・10月11日(土) 九州マーチングコンテスト 与勝中、大宮中、真志喜中 が銀賞を受賞
- ・12月 6日(土) マーチングバンド全国大会 具志川中 小編成の部 金賞を受賞

### 3 課題

・部活動の地域展開の動きがあり、具志川中は土日は保護者の運営で外部指導者による練習が始まっている。名護の AKEMIO Winds ジュニアマーチングバンドは小中学生で土日活動しており、完全に地域バンドとして運営している。今後、出演団体として位置づけてできるか検討が必要。

### 4 要望

## 令和 7 年度 活動報告 【 吹奏楽 専門部 】

記載者	氏名	松村 正彦	学校名	中城村立中城 中学校
-----	----	-------	-----	------------

### 1 活動報告

沖縄県中学校文化連盟選抜吹奏楽団 JNLB  
 9/8~19 オーディション募集⇒20校110名  
 9/20 オーディション(動画審査)実施⇒18校54名合格  
 10/4,25,11/8,22,29,12/5 合同練習  
 12/6 第31回沖縄県中学校総合文化祭<舞台の部>参加

### 2 成果

- [生徒に関して]  
 ○なかなか体験できない小編成ならではの響きを体感できた。 ○各校との交流を通して裾野が広がった。  
 ○演奏者のみならず観客からも大絶賛であった。
- [運営に関して]  
 ○専門委員を増員したことで、生徒一人ひとりへの指導が充実できた。  
 ○単独で予算が付いたため、楽譜購入やその他の経費に充てることができた。 ○トラック代の問題も解消できた。

### 3 課題

- 実施するにあたり、担当の負担が大きい。うまく仕事分担を振り分ける必要がある。
- オーディション実施に関して、もっと周知させること。ここで得られる体験の魅力を発信することが挙げられる。
- 中文祭の1回のみ本番しかないのがもったいない。どうかこのメンバーで数回ステージに立てられればと思う。

### 4 要望

- 今年度同様の専門委員や予算の確保をお願いしたい。

## 令和 7 年度 活動報告 【 リコーダー 専門部】

記載者	氏名	城間 清孝	学校名	港川	中学校
-----	----	-------	-----	----	-----

### 1 活動報告

令和7年	令和8年
1月…沖縄県リコーダーコンテスト	1月…沖縄県リコーダーコンテスト
3月…全日本リコーダーコンテスト	3月…沖縄県リコーダーコンテスト
10月…オータムコンサート	

### 2 成果

特になし
------

### 3 課題

リコーダーコンテストへの参加が4校ほどと少ない。
--------------------------

### 4 要望

特になし
------

## 令和 7 年度 活動報告 【 郷土芸能(琉舞) 専門部】

記載者	氏名	大城 寿乃	学校名	神森	中学校
-----	----	-------	-----	----	-----

### 1 活動報告

～11月上旬 各地区専門部で県への推薦団体の選考。
12/5 舞台リハーサル
12/6 本番(着付け・結髪等準備)

### 2 成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇地区、島尻地区からの推薦団体の選考や出演団体の着付け・結髪等の準備を委員協力して行うことができました。</li> <li>・OBの先生方のご協力をいただき、全国中文祭への参加団体の選考を行うことができました。</li> </ul>
---

### 3 課題

・昨年度の反省から、今後、各地区からの推薦団体を選ぶ際の選考基準の吟味が必要だと感じています。
---

### 4 要望

・上記の課題について、情報共有や意見交換しながら今後の運営をしていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひします。
---

# 令和 7 年度 活動報告 【 数学 専門部】

記載者	氏名	真地 利治	学校名	城北 中学校
-----	----	-------	-----	--------

## 1 活動報告

沖縄県中学校総合文化祭について話し合い(展示部会にて)  
 第1回実行委員会にて話し合い 第2回実行委員会にて話し合い  
 沖縄県中学校総合文化祭準備 沖縄県中学校総合文化祭

## 2 成果

- ・沖縄県統計グラフコンクールに出品された優秀作品が展示できた。(金賞、銀賞、銅賞)
- ・統計グラフ作品以外に自由研究、数学レポートの取り組みも展示できた。
- ・数学体験コーナーを設置し、行うことができた。
- ・沖縄県中学校数学教育会の事務局、各地区数学専門部の実行委員で対応できた。
- ・一地区中心ではあるが、中文祭での作品を推薦して出品もできた。

## 3 課題

- ・出展が、中頭地区と那覇地区の特定の学校からのみになっているため偏りがある。
- ・統計グラフ、レポートともに審査基準が設けられず、全国推薦作品の選考が難しい。

## 4 要望

- ・中文祭の取り組み等を知っている学校だけの対応(出展)になっている気がします。出品する学校に偏りが大きいので全体的からの周知が必要であるように感じました。
- ・専門部の奨励賞などの選出がやはりいきなりなため、選考がすごく難しかったです。段階的な導入が必要であったかなと思います。

# 令和 7 年度 活動報告 【 美術科 専門部】

記載者	氏名	赤嶺 荘王	学校名	宜野湾市立 宜野湾 中学校
-----	----	-------	-----	---------------

## 1 活動報告

- ・事務局や各地区の専門部長との連絡調整
- ・搬入、搬出管理(12/5、12/6)
- 12/6 体験コーナーの実施(オリジナル缶バッジの作成)
- 11/22 県スケッチコンテスト優秀作品(会長、金、銀賞)の展示

## 2 成果

- ・搬入、搬出共にスムーズに運営できた。
- ・展示スペースが広がったため、十分な数の作品展示ができた。
- ・ワークショップが好評だった。

## 3 課題

- ・展示パネル数の確保
- ・展示スペースの工夫
- ・作品の紛失(石垣地区:紙粘土作品)

## 4 要望

- ・搬入、搬出時には多くの展示担当者が来て会場の設置や片付けに取り組んでいる。作品の受け渡しについて専門部でも注意喚起しておくので、事務局でも名簿に記録してもらうなどの対応をお願いしたい。

## 令和 7 年度 活動報告 【 放送 専門部】

記載者	氏名	宮城 渉	学校名	宮里	中学校
-----	----	------	-----	----	-----

### 1 活動報告

司会・朗読部門の生徒をコンクールから選考して、本番に臨むことが出来た

### 2 成果

事前の講習会を受けて、司会の役割について考えさせながら進行することが出来た

### 3 課題

選考された生徒が諸都合辞退する生徒がいた。

### 4 要望

特になし

## 令和 7 年度 活動報告 【 特別支援学級 専門部】

記載者	氏名	比嘉実佐代	学校名	東江	中学校
-----	----	-------	-----	----	-----

### 1 活動報告

- ・～11/7各地区専門部長で出品作品の調整を行う
- ・11/7 作品名簿報告
- ・12/5 前日準備、作品搬入、作品展示
- ・12/6 第31回沖縄県中学校総合文化祭 その後搬出、片づけ

### 2 成果

- ・各地区から選んだ作品を見栄え良く展示することができた。
- ・個性の感じられる作品が多くあり良かった。
- ・昨年度から引き続き専門部を努めている役員が2人いたので作業がスムーズに行えた

### 3 課題

- ・パネル、テーブル数が減ることを意識しすぎて、作品が足りず文化祭当日の朝、作品の貼り付けをした。
- ・事前に作品の大きさなどの確認をしっかりと行うこと

### 4 要望

- ・仕事内容の引継ぎを確実にを行う



# 令和 7 年度 活動報告 【 国語(書道) 専門部】

記載者	氏名	屋宣 朱里	学校名	琉球大学教育学部附属 中学校
-----	----	-------	-----	----------------

## 1 活動報告

6/12 全国中文祭県代表作品選考会 7/4 第1回理事研修会にて確認  
 9/11 展示の部実行委員研修会にて中文祭当日の役割分担、消耗品購入等の確認、検討  
 10/2 実行委委員研修会にて詳細事項確認  
 12/5.6 国頭・中頭・那覇・島尻・宮古地区の各4作品(宮古3作品)及び、全国中文祭出品作品展示

## 2 成果

- ・ホール内の通路での作品展示であったため、舞台観客の入れ替えもあり、多くの中学生や地域・保護者・関係者の方に見てもらうことができた。
- ・全国中文祭の出品作品も展示することで迫力があつた展示ができた。
- ・各地区担当が、臨機応変に対応していただき、協力体制がよかった。

## 3 課題

- ・ホール通路の展示は良かったが、作品の展示と通行人の距離が近く、作品の管理に非常に苦慮した。
- ・八重山地区からの出品がなく、また他の地区も出品が減少傾向であることを懸念していた。
- ・書道専門でない先生が多いため、評価できる先生頼みになってしまった。次年度以降、専門の先生がいない場合、作品選出は厳しいと思われる。

## 4 要望

- ・展示スペースと通行人のスペースを空けるために壁側に展示場所の確保をお願いしたい。また、太陽が長時間当たるため、外側に向けた展示ではなく、内側に向けた展示にしたい。
- ・展示フックを購入していただいたが、掲示板の穴の大きさに微妙な誤差があり、うまく展示できないところがあった。また、取り外すとき、フックの破損がいくつかあった。違うフックの購入が可能であれば、お願いしたい。

# 令和 7 年度 活動報告 【 科学 専門部】

記載者	氏名	吉田 はるか	学校名	那覇市立古蔵 中学校
-----	----	--------	-----	------------

## 1 活動報告

【令和7年度は、中頭地区が実験コーナー担当】  
 ○～12/5 実験コーナー材料等準備  
 ○12/6 実験コーナー実施(液体窒素で遊ぼう)

## 2 成果

- 多くの生徒等が、実験コーナーにて体験を行っていた
- 担当の先生方を、午前・午後で分担していたので、負担を減らすことができた

## 3 課題

- 特に大きな課題はなし
- 県理科教育協会(県の理科研究会組織)で、県中文祭の実験コーナーの分担地区を持ち回りで行っているが、今年度は組織内で引き継ぎがされておらず、担当地区への連絡が遅れてしまった。次年度分担地区(島尻地区)には、すでに連絡済み。

## 4 要望

- 特になし

# 令和 7 年度 活動報告 【 YPFダンス 専門部】

記載者	氏名	久高直人	学校名	石川	中学校
-----	----	------	-----	----	-----

## 1 活動報告

6/27(金)ダンスコンテスト代表者会議(浦西中学校)  
 7/25(金)第6回ダンスコンテスト(うるま市民芸術劇場 響ホール)  
 10/18(土)YPFダンス部門先行開催(うるま市石川会館)

## 2 成果

- ・石川会館の座席数が973席あり、応援する保護者が多く入れた。
- ・2大会合計43チーム、518名参加。各チームともレベルの向上が見られ、年々盛り上がりを見せている。運営協力教師1名増。

## 3 課題

- ・DCとYPF大会との日程が近く、練習時間が短くなった。
- ・夏のDCが定着し、参加チームが増加。YPFの参加チーム減少。出演チーム増加に伴い、運営がひっ迫している。
- ・今後の検討案 DCとYPFの開催時期を離す。県中文祭への出場権をDCに移動。表彰内容の入れ替え。

## 4 要望

- ・教員の善意に頼るのではなく県中文祭をスリム化し、運営に関わる先生へ対価を支払う仕組みにしていきたい。
- ・ビデオ撮影やスナップ(写真)の撮影は業者をお願いしたい。

# 令和 7 年度 活動報告 【 技術 専門部】

記載者	氏名	玉那覇 秀樹	学校名	北中城中学校	中学校
-----	----	--------	-----	--------	-----

## 1 活動報告

9/ 各地区技術家庭科作品展審査  
 10/20 沖縄県技術家庭科作品展審査(県中文祭県代表作品選考会)  
 11/ 各地区専門部長で出品作品の調整を行う。  
 12/6 沖縄県中文祭展示

## 2 成果

- 各地区の作品を20点ほど展示することができた。
- スペースが半減した分、展示の仕方を工夫することができた。

## 3 課題

- 宮古地区、八重山地区の早くからの呼びかけを行う。
- ロボットコンテストの動画を流せるように取り組みを行う。

## 4 要望

- ・資料等の引き継ぎを確実に行う。
- ・展示する前にパネルの状態を再度チェックする必要がある。

(今年度に場所と広さを確認できたので次年度はスムーズに取り組める。)

## 令和 7 年度 活動報告 【 美術部 専門部】

記載者	氏名	上原秀樹	学校名	豊見城	中学校
-----	----	------	-----	-----	-----

### 1 活動報告

07/26	第12回沖縄県中学校アートコンクール	参加29校 平面110人・立体88人 合計198人
10/25	第1回沖縄県中学校アートフェスティバル	参加校24校、エントリー数366人
11/22	第15回沖縄県中学校スケッチコンテスト	参加校21校、エントリー数175名

### 2 成果

○第1回沖縄県中学校アートフェスティバル、24校300名以上の参加があり大成功に終えることができた。  
 ○第12回沖縄県中学校アートコンクールにおいては、初の地区代表参加方式で行った。参加校を絞ったことで大会がよりスムーズに運営できた。

### 3 課題

○県アートコンクールにおいては島尻、中頭地区の参加となった。その他の地区組織をどう立ち上げていくか。  
 ○スケッチコンテストの事前開催日程が他行事と重なり、スケッチする場所を限定することになった。  
 ○県アートコンクール、県アートフェスティバルともに会場確保が大変であった。

### 4 要望

○大会会場で使用できるスピーカーがあると助かります。  
 ○会場借用費が発生した場合の補助があると助かります。

## 令和 7 年度 活動報告 【 家庭科 専門部】

記載者	氏名	中里 栄子	学校名	真志喜	中学校
-----	----	-------	-----	-----	-----

### 1 活動報告

10月18日(土)沖縄県中学校技術・家庭科生徒作品審査会  
 (県中文祭への出品作品を選出また、最優秀賞受賞作品を全国中文祭への推薦作品に決定)  
 ~11月6日までに、各地区家庭科専門部で出品作品の調整(各地区5点程度に調整)  
 12月5日(金)前日準備、12月6日(土)展示

### 2 成果

・生徒作品審査会で受賞した作品を県中文祭へ出品するような方法で実施。全国推薦作品も併せて決定できた点は良かった。  
 ・昨年度に比べ展示スペースがかなり縮小され心配したが、地区中文祭が縮小されている地区もあるため、大きな問題はなかった。

### 3 課題

・離島からの作品の出展数やサイズ等が、県中文祭当日にしかわからず、展示スペースの調整が難しかった。

### 4 要望

・写真資料(展示の様子)などがあると、より助かりました。(教科専門部で引き継ぐようにはしますが)  
 ・全体的に大きなトラブルなく、運営できました。

# 令和 7 年度 活動報告【 音楽教育 専門部】

記載者	氏名	湊川 梓	学校名	三和	中学校
-----	----	------	-----	----	-----

## 1 活動報告

代表・・・那覇市立金城中学校団ルチバーカッション独奏『デュアリテ』□

本年度は、那覇地区が担当でした。年度スタートの沖中音研役員会にて確認をし、その後地区での選出になっています。8月には担当校も決まり、9月には申し込み提出しています。□

## 2 成果

聴きごたえのある演奏でした。

## 3 課題

特にありません。が、授業または普段の学校教育活動の中から選出できるとさらによいかと思います。が、、、難しいのが現状です。

## 4 要望

舞台の部の音楽関係の出演数(吹奏楽・リコーダー・合唱・郷土芸能三線など)は充実していると思うので、次年度は音楽教育部門はなしにしてもよいと思います。普段の授業より合唱やリコーダー、三線を行うので、改めて教育部門となると担当は非常に悩みます。そして、当日の役員も音楽の先生たちがほぼ行って教育部門からこれ以上役員選出は厳しいです。是非検討をお願いいたします。

(4) 令和8年度 沖縄県中学校文化連盟事業計画(案)

月	日	曜日	事業内容	場所・備考
4	10	金	学校基礎情報の報告期限(中文連担当者、生徒在籍・学級数等)	報告者:各学校中文連担当者もしくは教頭
	13	月	管内中学校情報の報告期限(担当主事様ご氏名、在籍数等)	報告者:各教育事務所中文連担当主事
	14	木	第1回常任理事会	事務局(浦西中)
	20	水	評議員会(総会)	てだこホール(市民交流室)予定
5			5/26(火)~6/5(金)表敬訪問 ・県教育庁・国頭教育事務所・中頭教育事務所・那覇教育事務所 ・島尻教育事務所・沖縄タイムス・琉球新報・県PTA連合会 ・浦添市教育委員会	各関係機関、マスコミ等
6	25	木	第2回常任理事会	事務局(浦西中)
7	9	木	第1回理事会	てだこホール(市民交流室)予定
	23	木	第7回沖縄県中学校ダンスコンテスト	うるま市石川会館
8	3	月	第31回県中文祭各専門部実施要項提出期限(実行委員報告)	
	19	水	第1回全国中文連理事会	東京都(大田区産業プラザ)
	20	木	第25回全国中学校総合文化祭 東京大会1日目	舞台・展示…大田区民ホールアブリコ
	21	金	第25回全国中学校総合文化祭 東京大会2日目	演劇…大田区民プラザ
9	10	木	第32回県中文祭「歌三線」募集締切	
			第32回県中文祭 展示部会	てだこホール(市民交流室)予定
	11	金	第32回県中文祭テーマ・ポスター 応募締切	
	24	木	第32回県中文祭テーマ・ポスター 選考会	てだこホール(市民交流室)予定
	25	金	第3回常任理事会	事務局(浦西中)
10	6	火	第32回県中文祭 第2回理事会および第1回実行委員会	てだこホール(市民交流室)予定
	22	木	第4回常任理事会	事務局(浦西中)
	29	木	歌三線合同練習	てだこホール(市民交流室)予定
			県中文祭YPF部門(バンド) 先行開催 *日程調整中	ONE COLORライブスタジオ
			県中文祭YPF部門(ダンス) 先行開催 *日程調整中	うるま市民芸術劇場 or うるま市石川会館
11	19	木	各地区・各専門部推薦報告および作品名簿報告締切 ※大会冊子原稿納期の関係上、県中文祭3週間前あたりを予定	
			第16回スケッチコンテスト 先行開催 *日程調整中	浦添市美術館周辺
12	11	金	第32回沖縄県中学校総合文化祭前日準備・舞台リハーサル	アイム・ユニバースてだこホール
	12	土	第32回沖縄県中学校総合文化祭	
	17	木	全国中文連第3回理事会(予定)	ZOOM
1	21	金	第5回常任理事会	事務局(浦西中)
2	19	金	第3回理事会および第2回実行委員会	てだこホール(市民交流室)予定
3	26	金	会計監査	事務局(浦西中)

令和8年度 各地区中学校総合文化祭(案)

地区	月日	会場
国頭地区	令和8年11月15日(日)	名護市民会館
中頭地区	令和8年11月14日(土)	うるま市民芸術劇場、ゆらてく
那覇地区	令和8年12月3日(木)	アイム・ユニバースてだこホール
島尻地区	展示…Web開催 舞台…開催なし(県中文祭への推薦のための動画審査あり)	
宮古地区	【舞台】令和8年10月30日(金) 【展示】令和8年11月7日(土)	【舞台】宮古島市マティダ市民劇場 【展示】未来創造センター
八重山地区	令和8年11月7日(土)	石垣市民会館 大ホール
沖特中文連	令和8年8月24日(月)~9月25日(金) Web開催	

## 第32回沖縄県中学校総合文化祭 実施要項(案)

- 1 趣 旨 沖縄県の中学生及び特別支援学校中学部に、文化芸術活動の場を提供することで、豊かな情操を育み未来へ繋がる創造力を高め、個性豊かな表現活動を通じて、芸術文化研究活動の充実・発展を図ることを目的とする。また、教師の交流を図り、それぞれの分野において、指導力を高める研修の場とするとともに、生徒相互の交流・親睦を図り、さらに意欲を持って追究する意思を育てることで、中学校における文化芸術活動の振興に資する。
- 2 主 催 沖縄県中学校文化連盟
- 3 共 催 沖縄県教育委員会 浦添市教育委員会 うるま市教育委員会  
沖縄県中学校長会 沖縄県特別支援学校長会 沖縄県PTA連合会
- 4 後 援 沖縄県市町村教育委員会連合会 日本教育公務員弘済会沖縄支部  
沖縄タイムス社 琉球新報社 NHK沖縄放送局  
琉球放送株式会社 沖縄テレビ放送株式会社 琉球朝日放送株式会社  
株式会社ラジオ沖縄 株式会社エフエム沖縄
- 5 助成及び協賛 関係団体
- 6 期 日 舞台の部(大ホール)：令和8年12月12日(土)  
※前日の12月11日(金)は舞台設営、リハーサルを行う  
舞台の部(小ホール)：令和8年12月12日(土) 演劇の部  
展 示 の 部：令和8年12月12日(土)  
※前日の12月11日(金)は作品搬入を行う
- 7 会 場 ○舞台の部：アーム・ユニバースてだこホール(大ホール、小ホール)  
※YPPFの部(バンド・ダンス)は先行開催とします。  
○展示の部：アーム・ユニバースてだこホール(市民交流室・多目的室・大ホールホワイエ)  
○スケッチコンテスト：先行開催
- 8 内 容 (1)すべての専門部の参加を原則とする。  
各専門部及び各地区中文連から推薦された作品や演目の発表を行う。  
①舞台発表の部：音楽教育、合唱、吹奏楽、マーチング、リコーダー、国語(少年の主張)、  
英語(スピーチ・スキット)、郷土芸能(琉球音楽、琉舞、空手等)、特支学校  
②展示発表の部：国語(文芸・書道)、社会、数学、美術(美術科・美術部)、  
技術家庭、特支学級、特支学校、NIE、茶道  
③演劇の部：各学校へ参加を募集する。  
④YPPF(ヤングパフォーマンスフェスタ)の部：各学校へ参加を募集する(動画審査あり)。  
(2)各地区中文連から推薦された作品や演目の発表を行う。  
※国頭・中頭・那覇・島尻・宮古・八重山・特別支援学校中学部  
(3)県中文祭スケッチコンテストを開催。県中文連会長賞他授与。  
(4)中学生記者による新聞速報及び事前記事を作成し、県中文祭にて配布を行なう。  
※協力：琉球新報社 沖縄タイムス社

## 9 日程(案)

	舞台の部 (大ホール)	舞台の部 (小ホール)	展示の部 てだこホール市民交流室他
前日 12月11日 (金)	【音響・照明の設営】 【会場設営等】 9:00~13:00  【リハーサル】 13:30~20:00 ・司会 ・リハが必要な郷土芸能 ・マーチング	【音響・照明の設営】 【会場設営等】 9:00~13:00  【リハーサル】 13:30~18:00 1団体50分	【会場設営(業者に依頼)】 9:30~14:00  【展示の部 最終会議】 14:30  【作品搬入開始・展示準備】 15:00~19:00
12月12日 (土)	【入館(関係者のみ)】 8:00~  【歌三線リハ】 8:45~9:15  【開場】 9:15  【午前の部】 9:45~11:45  【午後の部】 13:30~15:30  片付け・撤収 ~18:00	【入館(関係者のみ)】 8:00~  【歌三線リハーサル】 8:15~8:40 ※8:00~10:00 (リハーサル・控室で使用)  【演劇の部】 10:10 開場 ①10:40~11:30 ②11:40~12:30 ③13:40~14:30 ④14:40~15:30 *審査講評、表彰あり	【入館(関係者のみ)】 8:00~  【展示準備】 8:00~8:25  【展示発表】 8:30~15:30  片付け・撤収 ~18:00

## 10 大会役員

名誉会長	沖縄県教育委員会教育長
名誉副会長	沖縄県教育庁教育管理統括監 沖縄県教育庁教育指導統括官 沖縄県教育庁参事
顧問	沖縄県教育庁文化財課長 沖縄県教育庁義務教育課長 沖縄県中学校文化連盟歴代会長 沖縄県中学校・特支学校長会長
実行委員長	沖縄県中学校文化連盟会長
副実行委員長	沖縄県PTA連合会会長 沖縄県中学校・特支学校長会副会長 沖縄県中学校文化連盟副会長(専任) 各地区中学校文化連盟会長(国・中・郡・島・宮・八・特)
実行委員	沖縄県中学校文化連盟理事長・副理事長 各地区中学校文化連盟理事長(国・中・郡・島・宮・八・特) 沖縄県中学校文化連盟常任理事 // // 各専門部長 // // 各専門委員長 // // 各専門部教師実行委員
監事	沖縄県中学校文化連盟監事

## 沖縄県中学校総合文化祭 開催にあたって

### 県中文祭 役割分担及びローテーション

年	回数	開会宣言	生徒代表挨拶	閉会宣言	琉球舞踊・郷土芸能
R8	32	島尻	那覇	特別支援	県内6地区(八重山2枠)7団体
R9	33	特別支援	島尻	国頭	県内6地区(八重山2枠)7団体
R10	34	国頭	特別支援	中頭	県内6地区(八重山2枠)7団体
R11	35	中頭	国頭	那覇	県内6地区(八重山2枠)7団体

\*開会宣言、生徒代表あいさつ、閉会宣言は、国頭・中頭・那覇・島尻・特別支援学校のローテーションとする

### 1 舞台の部について

- ① 各地区中文連より推薦する郷土芸能・琉球舞踊の団体数  
R7年度～…各地区より1団体(八重山地区2団体)
- ② 放送専門部  
R7年度～…司会者推薦(大ホール4名、小ホール2名)、出演者推薦(朗読)
- ③ 吹奏楽、マーチング、合唱、リコーダー専門部  
R7年度～…1団体推薦
- ④ 特別支援学校、音楽教育、国語(文芸)、英語専門部  
推薦団体数に変更なし
- ⑤ 開演時間について  
R7年度～…(午前の部) 9時45分開演 (午後の部) 13時30分開演

### 2 展示の部について

- ① 1日のみの展示とする  
撮影業者に委託をして作品を撮影してもらったものを、Youtube配信する。
- ② 展示スペース、パネル枚数について  
令和7年度とほぼ同規模とする。
- ③ 科学専門部  
作品展示はせずに、実演コーナー(生徒)を実施する。

### 3 県中文祭テーマ キーワードについて

第29回「ひらく」 第30回「つなぐ」 第31回「つくる」

→→→ **第32回「生む」**

9/11(金) 7月

# 「第32回 沖縄県中学校総合文化祭」

プログラム内容 (案)

会場：アイム・ユニバースてだこホール 大ホール

令和8年 12月12日(土)

大会テーマ  
「○○○」

舞台部門【午前の部】 9:45～11:45

反響板あり(側板のみ) 緞帳使用不可

司会：

回	専門部	演目	出演者	地区名
1	歌三線	「安波節」「安里屋ゆんた」「めでたい節」	沖縄本島 4地区より 100～120名程度	
2	開会宣言			島尻地区
	ファンファーレ	(選抜吹奏楽団♪NLB)		
3	会長挨拶	沖縄県中学校文化連盟 会長：		
4	生徒代表挨拶			那覇地区
5	合唱			
6	郷土芸能			国頭地区
7	特別支援学校			
8	YPF(ダンス)	先行開催 グランプリ受賞校(スモール&ビッグ)		
9	郷土芸能			宮古地区
10	英語(スピーチ)			
11	国語(文芸)	少年の主張		
12	郷土芸能			八重山地区①
13	吹奏楽			

舞台部門【午後の部】 13:30～15:30

反響板あり(側板のみ) 緞帳使用不可

司会：

回	専門部	演目	出演者	地区名
☆		展示部門 専門部最優秀賞者 表彰		
14	合唱と吹奏楽の饗宴			
15	選抜吹奏楽団			
16	放送(朗読)			
17	英語(スキット)			
18	郷土芸能			八重山地区②
19	リコーダー			
20	郷土芸能			那覇地区
21	郷土芸能			島尻地区
22	音楽教育			
23	郷土芸能			中頭地区
24	マーチング			
25	閉会宣言			特別支援学校
	ファンファーレ	午後の部 マーチング 出場校		